

病院と地域の皆さんをつなぐ情報誌

済生会小樽病院広報紙

vol.44.2020

さいせいおたる



認知症ケアチーム

INDEX

- 02 認知症特集
- 08 患者さまの声
- 09 地域連携病院の紹介／かかりつけ医
- 10 済生会ってなんだろう
- 11 法人理念／無料低額診療事業のご案内
- 12 外来担当医師一覧表(2020年8月)

社会福祉法人
済生会支部北海道
済生会小樽病院

〒047-0008 北海道小樽市築港10番1号
TEL 0134-25-4321㈹
FAX 0134-25-2888
URL <http://www.saiseikai-otaru.jp/>
発行 和田卓郎 発行日9月1日
編集 広報室(松尾覚志)



認知症特集

—Dementia special feature—

医療を支える済生人

認知症看護
認定看護師

認知症という病気になってもひとりの人として
培ってきた価値観や思いが尊重され、自身の
決めてきたことをこれまでのように自身で選択
できるよう支えていきたいと考えています。

看護部5B病棟
認知症看護認定看護師 佐藤 由紀枝



「医療を支える済生人」では、済生会小樽病院を支える
スペシャリストの皆さんをご紹介します。

【認知症看護認定看護師を目指したきっかけは?】

認知症の記憶障害などにより、急な入院による環境の変化に対応できず居場所がわからず不安を抱える患者さんが多くおられます。そのような患者さんが現状を理解し安心して治療が受けられるようサポートしたいと考え専門的な知識と技術を身につけるために認定看護師を目指しました。また、資格取得に対する当院のサポート体制が整っていたことも子育てをしながらの通学を後押ししてくれました。

【仕事内容について教えてください】

病棟に入院している認知症をもつ患者さん、または認知症と診断されていても認知機能の低下により日常生活に支えが必要となる患者さんの困りごとを知るためにベッドサイドへ伺っています。また週に1回、専門的知識をもつ医師・看護師・薬剤師・栄養士・社会福祉士・リハビリスタッフと集まり、患者さんの症状について話し合いを行っています。不安や苦痛を感じていることを知り、失う記憶を補う具体的なケアを多職種で提案し実践しています。さらに患者さんに苦痛を与え家族やスタッフへ自責の念を与える身体的拘束の軽減、院内外の研修、地域への認知症ケアの啓蒙活動に取り組んでいます。

【1番心がけていることは何ですか?】

認知症をもつ患者さんは記憶を失うことや出来なくなった事が増えている自分について自覚している方が多くおられます。また、自覚することが難しくなってもひとりの人として歩んできた生活背景や価値観は尊重されるべき大切なものです。認知症という病気がその方のもつ自尊心を奪わないよう認知症の方がどのように考えどのようにしたいと思っているのか、それを伝える場を日々の日常でつくる事を心掛けています。

【今後の目標を教えてください】

認知症という病気にどのように向きあったらよいのか迷い悩む患者さんやご家族の方が多くおられます。退院した後も住み慣れた場所で安心して生活が出来るよう患者さんやご家族のサポートができることを目指していきます。また、認知症という病気をもつ患者さんの思いについて多くの方に知っていただき、どのように接する事が大切かを考えていける機会をつくっていきたいと思います。

認知症を予防しよう

現在、日本では認知症の方が400万人とされ、軽度認知障害の方を含めると800万人いると言われています

認知症予防で大切なことってなんでしょう？

認知症予防には下記のような行動が良いとされています。他にも普段行っていない趣味や家事など、新しいことに挑戦することで、眠っている脳が刺激を受けます。また、昔のアルバムを開いたり、音楽を聴いたりして昔を振り返ることは物忘れ予防に効果があると言われています。

適度な運動を しましょう

全身の血流が良くなり、脳の代謝がよくなることで、脳の活動が活発になります。



バランスの良い食事を、 よく噛んで食べましょう

塩分、糖分、油脂の摂り過ぎに注意し、バランスよく食べましょう。特に青魚がお勧めです。また、よく噛むことで、脳神経が刺激され、記憶も良くなります。



質の良い睡眠を とりましょう

夜よく眠るようにしましょう。特に午後10時～午前2時は成長ホルモンが脳の修復を助けてくれます。



社会活動に 積極的に 参加しましょう

地域の活動などに参加することで、脳が刺激され、あらゆる脳の領域が活性化します。



小樽市内にも多くの認知症のひとやそれを支えるご家族を対象に様々な取り組みがあります。認知症カフェ（たとえば「オレンジかふえ南小樽築港店」）や地域包括支援センター（市内5か所）、小樽・北シリベシ成年後見センター（電話0134-64-1231）、法テラス、通所リハビリ施設や、訪問看護ステーション、もよりの居宅介護支援事務所など多くあります。「地域のお役立ち手帳」（小樽市社会福祉協議会編2019年。www.otaru-shakyo.jp/welfare/service_05/images/note_help.pdf）もぜひご覧ください。



認知症特集

—Dementia special feature—

認知症の疑問、

松谷副院長と認知症ケアチームが お答えします

日本認知症学会 専門医・指導医 済生会小樽病院 松谷 学 副院長



Q.母が高齢になり、ものわすれが多く最近認知症かと疑います。

A.お母さまが心配かとおもいます。でもそれは本当に認知症のせいでしょうか?物忘れが多少あっても認知症ではない場合もありますし、逆に物忘れのめだたない認知症も数多くあります。循環器、消化器など全く違った病気で入院しているときに認知症によく似た症状がでることも、一過性で改善することもあります。また認知症と無関係と思っていた病気が認知症の進展と深い関係のあることが近年になって分かってきました。かかりつけの先生に、ご本人と、その最近の状況のわかるご家族が付き添って相談されるのが良いでしょう。当院でも脳神経内科専門医が毎日外来診察しております。

Q.一度認知症になってしまったら治らないとききますが…



A.昔は認知症は治らないので仕方がない、とされた時期もありました。現在でも進行のはやい事例や難しい症状は多くあります。しかしこの15年間でタイプによっては認知症の進行を少し遅らせる薬が複数開発され、現在も世界中で研究中です。適切な栄養、適度な運動、社会的な参加を維持していくこと(家の中で閉じこもったり、孤立しないこと)で認知症にならないための予防と、たとえ認知症になってもなんとか脳の機能を保ってこれまでの生活を維持する方法が少しずつわかってきました。患者さん自身の努力というより周囲の人々のかかわりかたも重要です。と言ってもどうすれば良いの?という疑問に認知症ケアチームのメンバーがお答えします。

Check!

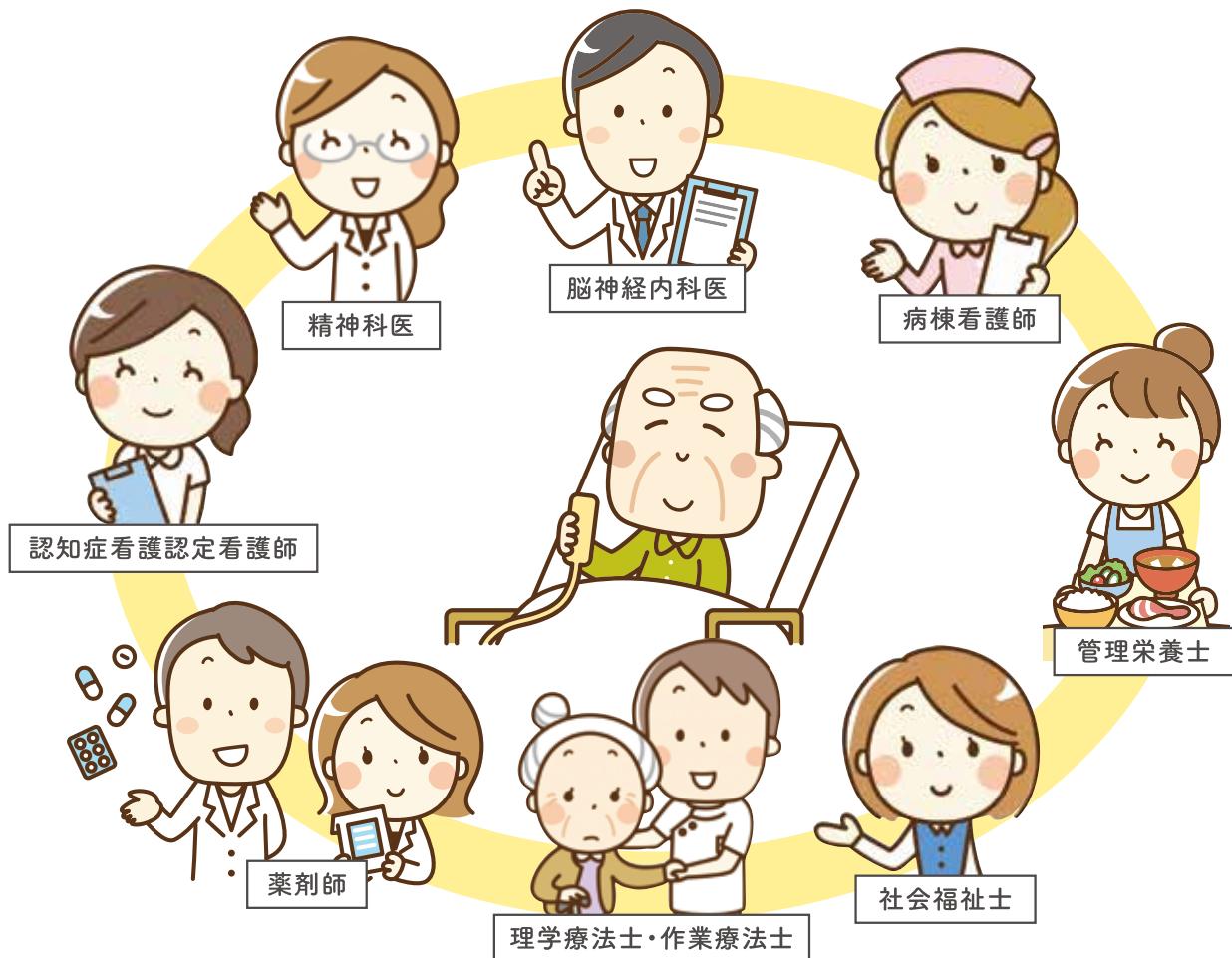
そもそも、認知症ってなんなの?

認知症とは、何らかの原因で脳の細胞が障害され、社会生活をする上で支障が出る状態を指します。認知症が進行すると、記憶や見当識などが低下し、日常生活にも支障が出てきます。

認知症ケアチーム登場

高齢の方が突然の病気やケガで入院された際、大きな環境の変化、治療による緊張や苦痛によって認知症の症状がない方でも、精神的な混乱や不安を表すことがあります。そのような患者さんや認知症を持つ患者さん、また、ご家族にも寄り添い、支援するチームが認知症ケアチームです。

安全・適切な療養を目指し、多くの専門職で構成



けがや急な病気で、住み慣れた自宅を離れての入院・治療はどなたにとっても不安や身体的な苦痛を感じることと思います。そんな中で、気持ちが混乱したり不安定になることを軽減、安全かつ適切な治療を受けられるように認知症ケアチームは、各職種の専門性を活かし、患者さんの状態や入院経過を確認し、患者さんだけでなく御家族からも、お話しを伺い、患者さんが適切な治療をうけられるよう主治医や病棟スタッフと連携して対応します。

近くでは**済生会小樽病院地域支援課**(代表電話0134-25-4321)や**小樽市南部包括支援センター**(電話0134-61-7268)、**居宅介護支援事務所「はまなす」**(電話0134-24-3133)、**小樽訪問看護ステーション**(電話0134-64-7616)にご相談ください。ご相談内容によって専門医や対応部署と調整対応いたします。

認知症特集

—Dementia special feature—

当院で認知症の診察を担当する

脳神経内科について知ろう!!

人体では脳や脊髄から手足や内臓などの末梢へ、また末梢から脳や脊髄へ神経が通っており、体を動かしたり感じたりする事、考えたり覚えたりする事などを調節しています。脳神経内科は、ヒトの脳・脊髄・末梢神経・神経筋接合部・筋肉に生じる様々な疾患の診断・治療を行う内科の専門分野です。

Check!

こんな症状には注意!!



脳神経内科で診療する病気

中枢神経に由来する疾患

- ・アルツハイマー病
- ・パーキンソン病
- ・脳炎
- ・髄膜炎
- ・てんかん
- ・脳血管疾患
- ・脊髄小脳変性症
- ・多系統萎縮症
- ・筋萎縮性側索硬化症
- ・多発性硬化症

神経筋接合部・筋肉に由来する疾患

- ・多発筋炎
- ・筋ジストロフィー
- ・周期性四肢麻痺
- ・重症筋無力症

末梢神経に由来する疾患

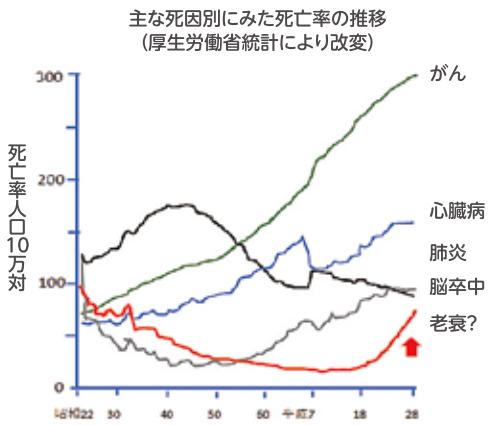
- ・ニューロパシー
- ・ギラン・バレー症候群
- ・慢性炎症性脱髓性神経炎

不安なことがあれば
いつでも相談してくださいね!



日本人の死亡原因は?

日本の死因は第1位がん、2位虚血性心疾患(心筋梗塞など心臓病)、3位肺炎、4位脳血管疾患(脳卒中など)、5位老衰となっています。この中で「老衰」とされる群は最近急速に増加しています(右図)。この「老衰」の中に認知症の多くを占めるアルツハイマー型認知症やパーキンソン病などの神経変性疾患が相当数含まれると考えられます(松谷Dementia Japan vol.34 p211, 2020)。単に歳をとったから、高齢だからフレイル(うごけないなど)になるのは当然、とすぐ考えず健康寿命を延ばすためにも、進行を予防したり遅れさせたりする方法があるか、また他の病気が隠れていないかを複数の視点で調べたほうが良いかもしれません。



神経変性疾患とは

原因は一つには限定できないのですが、神経細胞のはたらきが次第に低下したり脱落したりする状態です。癌や脳卒中とは全く病気の性質が違うのでCTやMRIだけでは見えにくいこともあります。あまり聞きなれない病名だったりで“珍しい”病気といわれてきたものもあります。しかし、合わせると上でのべたように本邦死因の第5位と次第に増えています。

当院脳神経内科はこれら変性疾患を診ることも柱の一つにして活動しています。最近は近郊の医院・病院にくわえ、福祉、介護の現場、施設、さらに市の地域包括支援センターから受診を勧められてくるかたもいらっしゃいます。

脳神経内科部長 認知症サポート医 林 貴士先生よりひとこと

「神経内科」という標榜科名は1975年に診療科として許可されて以来2017年まで用いられてきました。神経精神科や心療内科などの似た名称の診療科と混同されることがあり、患者さんが本来診てもらうべき診療科へたどり着くまでに時間を要してしまうことも見受けられました。診療の対象となる病気をより分かりやすくするために、例えば、胃や腸などの消化器系を内科的に治療する消化器内科、心臓や血管などの循環器系を内科的に治療する循環器内科と同じように脳と神経などを内科的に治療する「脳神経内科」と標榜科名を変更いたしました。これは脳の病気を外科的に治療する標榜科としてよく知られた「脳神経外科」と対になる名称にもなります。



神経精神科が気分の変化(うつや躁)や精神的な問題を扱う科、心療内科が精神的な問題が元で体に異常をきたしたような病気を扱う科であるのに対し、「脳神経内科」は、脳や脊髄、末梢神経、筋肉の病気を内科的に扱う科です。症状としては、力が入りづらい、物忘れがある、歩きづらい、動作がゆっくりになった、ふらつく、物が二重に見える、めまい感、頭痛、しびれるやけいれんなどがあります。

診療する病気は、麻痺が生じる脳卒中、物忘れなど今まで出来ていたことが出来なくなる認知症、意識を失いけれんするてんかん、頭痛などが代表的なもので、パーキンソン病や重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症などの様々な病気の診断と治療を行なっています。「脳神経内科」を受診し診察や検査されたのちに、外科的な治療を要する病気であることが分かれば、脳神経外科や整形外科へ紹介することができます。このように「脳神経内科」を入り口として、適切な診療科へ治療をつなげて行きます。

患者さまの声

《ご意見・お叱りの声》

※患者さまからのご意見やご要望を、お寄せいただきために『ご意見箱』を設置しております。病院が少しでも利用しやすくなるように取り組んでおりますのでお気づきの点が御座いましたら何なりとお知らせください。

内科のクラークの態度ですが、患者に対して上から目線で物を言う人がいます。具合が悪くて来ているのにクラークもそうですが、先生に付いているクラークさんも上から目線で態度が悪いので、すごく気分が悪いです。

この度は大変不快な思いを、おかげてしまい誠に申し訳ございませんでした。今回ご指摘いただきましたことを真摯に受け止め、患者様の立場にたった対応が出来るよう努め、教育してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。(医療クラーク課)

いつも無料バスを利用させていただき大変有難く思います。小樽駅近くに住んでおり、稲穂5丁目セブンイレブン前から乗せて頂いていますが、小樽駅近くや街の中を回っていただけるよう希望します。駅近くに住んでいる人や、遠い人でも駅で降りて送迎バスを利用しやすくなると思います。街中を希望しましたが全てを廻ると時間がかかると思いますので、せめて小樽駅近くでバスが停まりやすい所に乗降場所を一ヶ所でも設置して頂くと有難いです。是非工夫して頂けますようお願い致します。

送迎バスの小樽駅周辺での乗車・降車につきましては、利用者数や運行ダイヤの関係上難しい状況となっており、ご要望に添えず誠に申し訳ございません。頂戴したご意見につきましては、今後見直しの際に検討させて頂きたいと存じます。この度は貴重なご意見ありがとうございました。(総務課)

《お褒めの言葉》

患者の娘です。家族を代表して書きました。担当の先生の説明も丁寧でこちらが理解するまで嫌な顔せず対応して下さいます。看護士さん、介護士さんみなさん一生懸命仕事をされていて食事介助、排泄介助などいつも感心しています。今まで見てきた病院でここが一番!だねと家族のみんなが言っています。受付の方、相談員さんも優しくとても感じが良いです。退院も近くなっていますが(?)心から感謝しています。

この度はあたたかいお言葉をいただきありがとうございます。日頃より、患者様・ご家族様の不安を軽減し、安心して治療を受けていただけるようチーム一丸となって活動しておりますが、この度のお褒めのお言葉は大変嬉しく、感謝しております。これからもお言葉を励みに、患者様・ご家族様のお気持ちに寄り添えるよう精進してまいります。(看護部)

リハビリの○○○さん、とても優しくて親切で仕事に一生懸命な先生でした。わからない事を質問しても的確にアドバイスをして頂き、とても安心して楽しくリハビリに通う事ができました。本当にありがとうございました。良い先生に会えて良かったです。○○さんも明るく良い先生でした。済生会病院ありがとうございました。

この度は、お褒めのお言葉をいただき誠にありがとうございます。私たちも皆様の笑顔や心温まるお言葉に支えられながら、日々精進しております。今後も皆様が住み慣れた地域で安心安全な生活を送ることができるようリハビリスタッフ一丸となり、支援していきたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。(リハビリテーション室)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました!!今後とも、当院をよろしくお願ひいたします。



きずな

地域連携病院の絆

～安心の地域医療サービスをめざして～



小樽市入船2丁目3-5

TEL 0134-23-3290

[診療時間]

平日 9:00~12:00／14:00~17:30
水曜・土曜 9:00~12:00

[休診日]

日曜、祝日

[中央バス]

入船十字街バス停下車 徒歩2分

入 船

[整形外科・リハビリ科]

医療法人社団 なんたる整形外科

院長 塩崎 彰 (しおざき あきら)

加齢性の痛みやスポーツ障害に対し、正しい診断と適切なリハビリテーションでアプローチ

この度、5月1日になんたる整形外科を新規開業しました。整形外科では通常レントゲンを撮って、骨に異常がないか調べます。しかし、レントゲンに異常がなくても痛かったり、しごれたりなどの症状が出ることがあります。当院では必要であればMRIを撮り、痛みやしごれの原因を見つけて治療へ結びつけます。リハビリでは、電気をあてたり、牽引したりする物理療法も行いますが、それだけでは関節の障害や筋肉の問題、あるいは体幹、下肢などのバランスに問題がある患者さんには不十分です。当院では関節障害やスポーツ障害に対して、理学療法士が運動療法を行うことによって治療を進めていくことが特徴です。中高年の加齢性の痛みと、若年層のスポーツ障害に対し、正しい診断と適切なリハビリによってアプローチしてまいります。



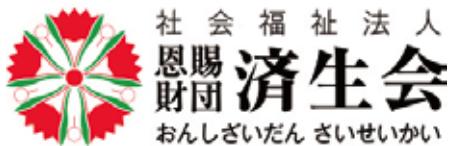
「かかりつけ医」を持ちましょう

「かかりつけ医」とは？

病気やけがなどの通院治療はもちろん、日頃の健康管理を行っていただく、地域の身近なお医者さんのことです。気になることがあったら、まず「かかりつけ医」に相談しましょう。専門的な治療や検査、入院などが必要となった場合は適切な医療機関を紹介し、病院の架け橋となってくれます。



かかりつけ医をお持ちでない患者さんには、
病気やお住まいの地域に合わせてご紹介いたします。
お気軽にご相談ください。



済生会ってなんだろう？

済生会とは

済生会は明治天皇が医療によって、生活困窮者を救済しようと明治44年設立しました。100年以上にわたる活動をふまえ、今、次の三つの目標を掲げ日本最大の社会福祉法人として全職員約62,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。

- 生活困窮者を済(すく)う
- 医療で地域の生(いのち)を守る
- 医療と福祉、会を挙げて切れ目のないサービスを提供



はじまりは、明治天皇の「済生勅語」

明治44年2月11日、明治天皇は、時の内閣総理大臣 桂太郎を御前に召され、「生活苦で医療を受けることが出来ずに困っている人たちを施薬救療(無料で治療すること)によって救おう」と「済生勅語」発し、お手元金150万円を下賜されました。桂総理は早速、準備に取り掛かり、同年5月30日、天皇陛下からいただいたという意味の「恩賜財団済生会」の創立となりました。



明治天皇

朕惟フ世局ノ大勢ニ隨ヒ國運ノ伸張ヲ要スルコト方ニ急ニシテ經濟ノ狀況漸ニ革マリ人心動モスレハ其ノ歸向ヲ謬ラムトス政ヲ爲ス者宜ク深ク此ニ鑑ミ倍々憂勤シテ業ヲ勸メ教ヲ敦クシ以テ健全ノ發達ヲ遂ケシムヘシ若夫レ無告ノ窮民ニシテ醫藥給セス天壽ヲ終フルコト能ハサルハ朕ク最軫念シテ措クサル所ナリ乃テ施藥救療以テ濟生ノ道ヲ弘シムトス茲ニ内帑ノ金ヲ出タシ其ノ資ニ充テシム卿克ク朕ク意ヲ體シ宜キニ隨ヒ之ヲ措置シ永ク衆庶ヲシテ頼ル所アラシムコトヲ期セヨ

済生勅語

済生会 小樽病院理念

かかるて良かったと思う病院
働いて良かったと思う病院
地域と共に歩む病院



「無料低額診療事業」のご案内

済生会小樽病院では、生活困難な方が経済的な理由によって必要な医療（治療）を受ける機会が制限されることのないよう、医療費の自己負担を軽くする診療費減免（無料低額診療事業）を実施しています。下記のような方は、相談窓口にお越しくださるか、看護師・事務職員にお申し出ください。

（どの程度負担を軽くできるかは、収入や必要な医療費によって変わります）

新型コロナウイルス感染症
による休業等から収入が
減少した方もご相談ください。



- 病気で仕事を辞めた
- 収入が減った
- 年金額が低い
- 生活保護に該当しなかった
- 非課税世帯
- 借金があり生活困難

基準を満たしているかどうかを判断する為、收支の分かる資料（源泉徴収や課税証明書などの申請者及び世帯全員の収入がわかるもの等）を提出していただきます。この制度の利用をご希望される場合は、“総合案内”（1階ロビー内）にてお申し出ください。医療ソーシャルワーカーがご事情をお伺いいたします。

外来担当医師一覧表(2020年8月)

●受付時間/午前8:50~11:30 午後12:40~16:00

診療科		月	火	水	木	金
内科・消化器内科	午前	舛谷治郎 明石浩史 工藤準也	水越常徳 榮浪洋介	宮地敏樹 水越常徳	宮地敏樹 明石浩史	舛谷治郎 明石浩史
	午後	志谷真啓 水越常徳	宮地敏樹	本谷雅代	舛谷治郎 石上敬介	水越常徳 工藤準也
循環器内科	午前	汐谷 優	高田美喜生	國分宣明	高田美喜生	汐谷 優
	午後		汐谷 優	汐谷 優		高田美喜生
脳神経内科	午前	林 貴士	松谷 学	藤倉 舞	山本大輔/ 外山祐一郎	松谷 学 山本晃匡
	午後					
緩和ケア内科 ※完全予約制	午前	菊地未紗子	菊地未紗子	菊地未紗子	菊地未紗子	菊地未紗子
	午後	菊地未紗子 (第1・3・5)		菊地未紗子		菊地未紗子
外科・消化器外科	午前	木村雅美	田山 誠	木村雅美	孫 誠一	外科医師
乳腺外科 ※完全予約制	午後			島 宏彰 (第3)	和田朝香 (第1)	
整形外科	午前	和田卓郎 興村慎一郎 清水淳也 藤本秀太郎	織田 崇 清水淳也 藤本秀太郎	織田 崇 興村慎一郎 清水淳也 (第1・3・5) 藤本秀太郎 (第2・4)	和田卓郎 興村慎一郎 清水淳也 押切 勉	織田 崇 藤本秀太郎 札幌医大医師
	午後 ※予約・紹介患者	近藤真章	廣瀬聰明 (第2・4)	織田 崇	近藤真章 興村慎一郎	札幌医大医師 (第3)
リハビリ テーション科	午前					
	午後				石合純夫 (第1)	
泌尿器科	午前	堀田浩貴	安達秀樹 新海信雄	堀田浩貴	堀田浩貴	安達秀樹 新海信雄
	午後					

